

## 新公会計制度を活用した予算編成について

町田市は、2012年4月に市区町村としては全国で初めて、日常の会計処理の中で複式簿記を行う新公会計制度を導入しました。

今まで検証する機会が少なかった事業単位での人件費や、退職手当引当金などを含めたフルコスト情報を迅速に把握できるようになり、事業の効率性や有効性の検証ができ、行政マネジメントへの活用が可能となりました。

ここでは予算編成時に、この新公会計制度の考え方を活用した具体的事例をご紹介します。

### 【事例：要介護認定事務の委託化における、費用対効果の検証】

介護保険事業では、介護保険認定者数が増加し続ける状況において、業務を効率化し、より品質の高い要介護認定事務を提供することを目的として、要介護認定事務のうち定型的な業務の委託を検討しました。

〈費用対効果の検証〉

委託により生じるコスト	要介護認定事務委託料 (A)	2,206万円
委託により削減可能な人件費	常勤職員*	769万円×3人 2,307万円
	嘱託職員	263万円×1人 263万円
	臨時職員	74万円×1人 74万円
	合計 (B)	2,644万円
	(A)-(B)	<b>-438万円</b>

\*常勤職員の人件費には将来発生する負担として、退職手当等をあらかじめ費用に含めています。

費用対効果を検証した結果、2015年4月から要介護認定事務のうち定型的業務について委託化することを決定しました!

町田市では、今後も積極的に新公会計制度を予算編成に活用していきます!

委託料よりも人件費削減額の方が大きいことが分かりました!



## 市民一人あたり予算の使い道

2015年度一般会計予算額を、2015年1月1日現在の町田市の人口(426,648人)で割って算出しました。



市民一人あたりの予算額334,773円のうち、市税でどのくらい負担しているのですか?

市民一人あたりの予算額に対する市税負担額は158,331円で、ほぼ半分を占めています。残りの半分は、国・都支出金(国や東京都から交付される補助金など)102,596円や、市債(借金)16,553円、基金(貯金)の取り崩し8,440円などによってまかなわれています。



市民一人あたり  
予算額  
**334,773円**  
(前年度比+6,410円)

子どもや障がい者、高齢者などの医療・生活支援のため

**173,246円**  
(前年度比+7,955円)

道路や公園  
区画整理などのため  
**27,809円**

小・中学校や文化、スポーツなど教育のため  
**35,022円**

市民の健康やよりよい生活環境のため  
**30,889円**

消防・防災のため  
**12,280円**

市債の返済のため  
**14,350円**

その他  
**4,924円**

※円の大きさが市民一人あたりの予算額の大きさを表しています。  
※前年度比1,000円以上の増減があったところのみ、前年度比を掲載しています。

## まちだの台所事情

### —貯金(基金積立金)と借金(市債)はどれくらいあるの?—

### 基金積立金(貯金)の状況

基金積立金は、家計にたとえると貯金にあたるものです。「財政調整基金」では、災害復旧など臨時的支出や経済事情の変動などで収入(歳入)が足りない時に取り崩し、逆にお金が余った時には、貯金(積立)して年度間の財源を調整しています。

区分	2014年度末 現在高見込額	2015年度中増減見込額		2015年度末 現在高見込額 (※)
		当初予算 積立見込額	当初予算 取崩見込額	
財政調整基金	53億8,009万円	38万円	30億4,568万円	23億3,479万円
その他特定目的基金	56億5,247万円	4億6,203万円	6億5,523万円	54億5,926万円
合計	110億3,256万円	4億6,240万円	37億91万円	77億9,405万円

「その他特定目的基金」は、あらかじめ使い道を決めて積み立てや取り崩しをする基金で、公共施設整備等基金、福祉基金、緑地保全基金、職員退職手当基金、介護保険給付費準備基金、廃棄物減量再資源化等推進整備基金があります。

※今後、2014年度の剰余金などを積み立てていくことで、現在高を確保していきます。

### 市債(借金)の状況

市債とは、家計にたとえるとローンにあたるものです。公共施設などをつくるために必要となる多額の資金を「長期ローン」として借り、将来利用する市民との費用負担を公平にしています。ただし、借金であることに変わりはないので、借り入れには十分気をつけています。

会計区分	2014年度末 現在高見込額	2015年度中増減見込額		2015年度末 現在高見込額
		起債見込額	元金償還見込額	
一般会計	733億9,647万円	70億6,230万円	52億6,514万円	751億9,363万円
下水道事業会計	499億8,982万円	26億9,310万円	27億2,270万円	499億6,022万円
病院事業会計	133億1,927万円	—	6億4,732万円	126億7,195万円
合計	1,367億556万円	97億5,540万円	86億3,516万円	1,378億2,580万円



### 市民一人あたりに換算すると...

貯金の残高(2015年度末見込)

**18,268円**  
(前年度比-7,591円)

※人口:426,648人  
(2015年1月1日現在)

### ローンの残高

(2015年度末見込)

**323,043円**  
(前年度比+2,625円)



市債の残高が、2015年度末で1,378億円もあるなんて、町田市の借金は多くないですか?

一般会計の市債について、市民一人あたりの残高を多摩26市と比較すると、少ないほうから9番目の金額です(2014年度は8番目)。一般会計の市債は、市税をもとに返済していきます。



下水道事業と病院事業をあわせた特別会計の626億円については、公立病院や下水道の整備状況が市によって異なるので単純比較は難しいです。特別会計の市債は、医療収益や下水道使用料をもとに返済していきます。

※四捨五入による端数処理を行っているため、合計と合致しない場合があります。